「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		個人番号カード交付関連事務費 [個人番号カード交付関連事務]					
予算科目	款 2	総務費	項 3	戸籍住民基本台帳費	目 1	戸籍住民基本台帳費	事業番号 4
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの					
担当部署・課長名		市民 課		市民 係		課長名	長井素子
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	行 - 2	
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現					総合計画書 (ページ)	122	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)			
	市民(マイナンバー所有者)			4月1日現在のマイナンバーカード総交付枚数			
	→						
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)			
	国の施策に則り、正確に個人番号カードの交付を行う。			マイナンバーカードの所有者の割合(マイナンバーカード所有者/4月1日現在の人口)			
	→						
3 経費	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)			
	本人からの届出に基づき個人番号カードの交付を行う。			年間のマイナンバーカード交付枚数			
	→						
		単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
			平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標
対象指標	①の数値	枚	17,839	27,918	39,600		
成果指標	②の数値	%	20.9	32.7	46.5		
目標	②の目標値	%	21	47.4	72.2		
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)							
令和2年度から国が掲げる交付円滑化計画はじまり、令和4年度末までに100%を目標値とする。							
活動指標	③の数値	件	3,133	10,075	11,682		
3 経費	事業費(実績)		円	23,591,834	58,615,094	53,687,437	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	1,797,834	10,800	1,600	
		特定財源	円	21,794,000	58,604,294	53,685,837	
		(うち受益者負担)	円	0	108,800	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
職員人件費(再任用以外)		円	16,620,000	16,760,000	16,500,000		
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
事業費+人件費		円	40,211,834	75,375,094	70,187,437		
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 令和4年度も引き続き、遺漏なく迅速に業務を行っていきたい。						
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 個人情報漏えい防止や事務の正確性維持の為、一層セキュリティに留意していきたい。						